学校番号	1302

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新図説　家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて学びます。生活に必要な知識や技術を習得し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力や実践的な態度を身につけましょう。学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向け、課題の解決に主体的に取り組み、地域社会に参画する力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	・生涯発達する人生 ・青年期を生きる ・子どもの発達 ・高齢者 ・現代の家族	a:各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こりえるライフイベントと関連させて理解することができる。 b:自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、自身の将来について思考・判断することができる。 c:自己分析をして、自分らしい生き方について考えられる。	・定期考査	・定期考査 ・観察 ・パフォーマンス課題	・プリント ・観察
	住生活をつくる	・ライフステージと住まいの計画 ・安全な住まい	a:すべての人にとって住みやすい住環境について理解できる。 b:ライフステージに応じた住まいについて思考・判断することができる。 c:住まいにおいて、バリアとなっている箇所を見つけるなど課題を見つけ、改善にむけて取り組もうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・観察 ・パフォーマンス課題	・プリント ・観察
	衣生活を作る1	・被服製作実習 三角巾・エプロン製作	a:基礎縫い・ミシンの基礎的な知識・技能を身につけている。 b:基礎縫い・ミシンの基礎的な知識・技能を活かし、自らの考え・工夫を適確に表現することができる。 c:被服実習に意欲的に取り組んでいる。	・定期考査 ・製作物	・定期考査 ・観察 ・パフォーマンス課題	・プリント ・観察

2学期	食生活をつくる	・五大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食摂取基準 ・献立作成 ・調理実習(3 学期も実施)	a:食品の栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って知識を深めている。 b:食の知識・技能を活かし、実生活の食生活の課題を見つけ出し、解決策を考えられる。 c:自分・家族のライフステージを考えながら、食生活をより良くするために意欲的に取り組んでいる。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・観察 ・パフォーマンス課題	・プリント ・観察
	衣生活をつくる2	・衣服素材の種類と特徴 ・家庭での洗濯	a:繊維の種類と特徴、洗濯の種類や働きについて理解している。 b:繊維の種類や特徴を理解し、適切な洗濯の方法を考えることができる。 c:自分の衣生活をより良くしようと意欲的に取り組んでいる。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・観察 ・パフォーマンス課題	・プリント ・観察
3学期	消費行動を考える	・契約と消費的な消費行動 ・多様化する販売方法と問題方法 ・消費者を守る制度・法律	a:「契約」の基本的な仕組み、多様な支払方法、問題商法の種類、消費生活にかかわる法律・制度を理解する。 b: 自らの実生活を振り返り、消費行動の課題を見つけ出し、解決策を考えることができる。 c:自らの消費行動をより良くするために意欲的に取り組んでいる。	・定期考査	・定期考査 ・観察 ・パフォーマンス課題	・プリント ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度